第 1 版（2025 年 12 月 12 日作成）

消化器肝臓内科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》自己免疫性膵炎/IgG4 関連硬化性胆管炎におけるステロイド治療後胆管狭窄に関する多機関共同研究

《共同研究の代表機関名・研究代表者》　関西医科大学附属病院・消化器肝臓内科　病院教授・池浦司

《研究の目的》自己免疫性膵炎と IgG4 関連硬化性胆管炎において、ステロイド治療を行っても胆管狭窄が残存する症例の特徴を明らかにすることがこの研究の目的です。

《研究期間》研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

自己免疫性膵炎または IgG4 関連硬化性胆管炎の患者さんで、2010 年 1 月 11 日から 2020 年 12 月 31 日の間に内視鏡的または経皮的胆管ドレナージ術を受けた方

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）等

《情報の利用又は提供を開始する予定日》2026 年 11 月 28 日

データ解析は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報を復元できる情報は、本院（又は本学）の研究責任者が保管・管理します。

情報の管理について責任を有する者の氏名：池浦 司

提供する情報の取得の方法：電子メール

《研究組織》

［研究責任者］

関西医科大学附属病院	消化器肝臓内科	池浦 司
札幌医科大学附属病院	消化器内科	川上　裕次郎
東北大学病院	消化器内科	佐野　貴紀
福島県立医科大学附属病院	消化器内科	鈴木　玲
東京医科大学病院	消化器内科	向井　俊太郎
東京女子医科大学病院	消化器内科	島松　裕
東京女子医科大学附属八千代医療センター	消化器内科	西野　隆義
獨協医科大学病院	消化器内科	山宮　知
横浜市立大学附属病院	消化器内科	窪田　賢輔
静岡県立静岡がんセンター	内視鏡科	松林　宏行
信州大学医学部附属病院	消化器内科	中村　晃
富山大学附属病院	消化器内科	林　伸彦
金沢大学附属病院	放射線科	小森　隆弘
名古屋大学医学部附属病院	消化器内科	川嶋　啓揮

藤田医科大学病院	消化器内科	田中　浩敬
藤田医科大学ばんたね病院	消化器内科	山本　智支
京都府立医科大学附属病院	消化器内科	十亀　義生
神戸大学医学部附属病院	消化器内科	辻前　正弘
岡山大学病院	消化器内科	松本　和幸
倉敷中央病院	消化器内科	上野　真行
九州大学病院	肝臓・膵臓・胆道内科	藤森　尚
鹿児島大学病院	消化器内科	田ノ上　史郎

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

●研究代表者および研究内容の問い合わせ担当者

札幌医科大学附属病院　消化器内科
助教　川上 裕次郎
060-8543　北海道札幌市中央区南1条西16丁目291
TEL：011-611-2111（内線：32100）
Fax：011-611-2282 (直通)